

寄宿舎便り



令和4年4月8日発行

第1号

文責 甲斐

校長先生の挨拶

4月に新任校長として着任しました仲山と申します。宇土高校から参りました。盲学校勤務は、20代後半の5年間、教頭として1年、そして今回の3回目となります。教職生活が始まった若い時代にこの盲学校で児童、生徒と過ごした日々は、私の教師としての軸となっています。その盲学校に校長として三度勤務できましたことをとても嬉しく思っています。盲学校の寄宿舎は、新しくなって4年目を迎えます。私の20代の遠い記憶では、当時の寄宿舎は既に古びたイメージで、今の寄宿舎を初めて見た時には、その整った設備と美しさに感動しました。

さて、寄宿舎で新たに生活を始められる児童、生徒のみなさん、御家族の皆さん、寄宿舎での新しい生活に期待と不安を抱かれていることと思います。寄宿舎での生活は集団生活という事もあり、窮屈さを感じることもあると思います。ですが、規則正しく整った生活、すぐそこに仲間がいて、先輩後輩の絆も生まれること、毎日の自学時間が設けられることによる学力の定着、生活力の向上等、得るものがたくさんです。そして、御家族にとっても寄宿舎職員や舎監の職員がいることでの安心感もあることと思います。寄宿舎は、第二の大きな家庭です。成長しつつ、仲間と楽しみながら、豊かな寮生活を過ごしてほしいと願っています。

校長

仲山加津恵

転任職員紹介

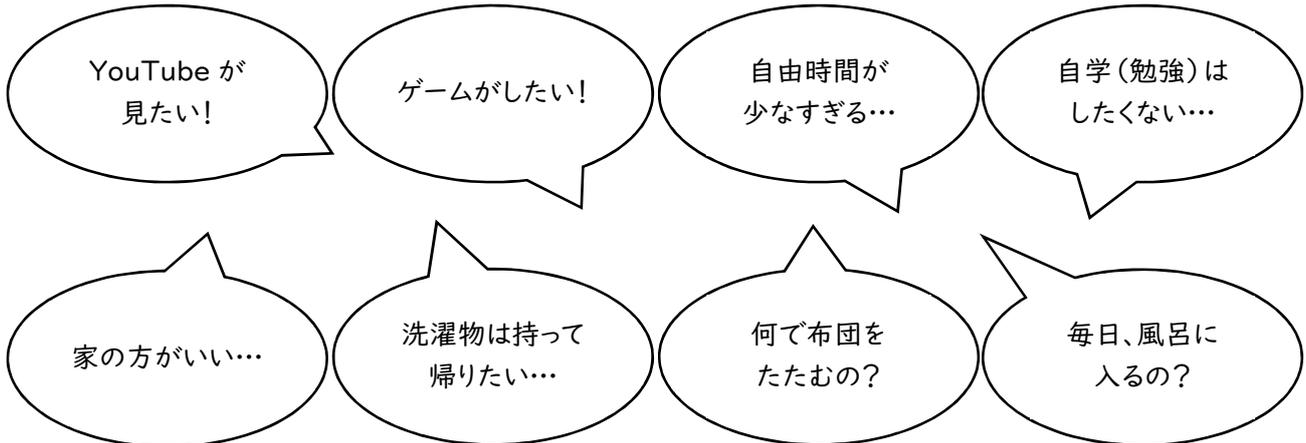
新しく男子職員2名、女子職員1名の職員が赴任いたしました。今年度は男子棟7名、女子棟9名の計16名で一丸となって、舎生全員の安心安全な生活を、全力でサポートさせていただきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。新しい職員3名の自己紹介は次号のお便りにて紹介しますので、お楽しみに♪



ようこそ、盲学校寄宿舎へ!

4月から新しく入舎されるみなさん、そして気持ちを新たに
新学期を迎えられるのみなさん、ようこそ盲学校寄宿舎へ。
今年度は、20名(男子11名、女子9名)の寄宿舎生と、25名の
舎監の先生、16名の寄宿舎指導員でスタートします。

しばらくは緊張で疲れやすくなったり、自分の家と違う環境に戸惑ったりと、ストレスを感じやすい
時期が続きます。特に…こんな声が毎年聞かれます。



私も、生徒だったら(今でも)そう思います。でも、なぜか秋ごろになると、「自分のことは自分でする」「さあ、宿題を頑張ろう」「部屋掃除が終わりましたー」などの会話や、廊下で談笑している姿が見聞きされるようになります。

きっと、自分でできるようになった喜びやみんなが頑張っている姿が良い刺激になっているのでしょうね。

今年一年、寄宿舎生と保護者のみなさまから「寄宿舎に入れて良かった」と言っていただけるよう、職員一同、責任をもって大切なお子様をお預かりさせていただきますので、御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

寄宿舎主任 村上
盲学校寄宿舎指導員一同

4月

行事

- 8日 始業式・入学式
- 11日 歓迎会
- 12日 双葉会説明放送
- 13日 鯉のぼり飾り
- 18日 双葉会役員選出
- 20日 合同避難訓練(火災)
- 21日 役員会
- 25日 役員任命式・双葉会総会
- 27日 しょうぶ湯
- *11日~22日 個別懇談・保護者懇談

『しょうぶ湯』のお知らせ

4月27(水)にしょうぶ湯を実施します。しょうぶを湯船に浮かべ、舎生みんなの無病息災を願います。つきましては、皮膚の弱い方・配慮の必要な舎生さんは職員までお知らせください。入浴の順番などを変更して対応したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。